

2008年1月17日、日本経済新聞朝刊に掲載しました全面広告が、
第48回「消費者のためになった広告コンクール」
新聞広告部門で銀賞を受賞いたしました。

2008年1月17日 日本経済新聞朝刊に掲載しました15段広告が、社団法人日本アドバタイゼーズ協会（理事長：西室 泰三氏）主催の「消費者のためになった広告コンクール」の新聞広告部門で銀賞を受賞いたしました。

同コンクールは、1961年に始まった歴史ある日本の代表的な広告賞で、「広く社会的に、より良い広告を理解してもらい、国民一般の消費生活の指針となる真に役立つ優れた広告を賞揚し、消費者からみた広告の在り方を究明していく」ことを目的としております。

選出は、社団法人日本アドバタイゼーズ協会が委嘱をする消費者モニターをはじめ媒体社・広告会社・製作会社等が推薦した作品の中から、「広告というもの本来の意味での値打ちとは何であるか」「消費者のためになった広告であるか」を中心に審査が行なわれ、有識者からなる審査委員会の審議を経て決定されました。

本年度は、全部門合計で3,278点の応募があり、その内新聞広告部門では応募総数1,539点の中から36点が入賞となりました。

もしもの災害時、企業活動の継続のために、



長期保存食の備蓄を。



Onisi
尾西食品株式会社

尾西食品は、4,876の企業、全国の自治体に採用され、危機管理をサポートしています。



たとえお湯がなくても、水だけでごはんになる。私たち尾西食品は、日本で初めて「アルファ米」を開発し、5年という長期保存の技術でも、「おいしい」と「おいしい」を両立できるという確かな技術力が評価されています。もしもの災害時、早期に企業活動再開を希望する、避難に立ち向かえるエネルギーを、私たち尾西食品は、健康とストレスを減らされる事柄のなかでも、一歩のごはんがもたらす「チカラ」と「安らぎ」を表現しつづけていきます。

経済を止めない食品。